

# 中山間地域等に対する支援制度

農林水産省農村振興局

農村政策部地域振興課

富田 晋司

令和5年6月9日

**MAFF**

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

農林水産省

# 【中山間地域等の集落維持と活性化・自立化の流れ（ソフト事業の活用等）】

○ 人口減少や高齢化に起因する中山間地域等の諸課題に対応しつつ、さらなる人口減少を見据えた地域づくりと農山漁村の活性化に向けた取組を後押し

## 1. スタートアップ

### 山村振興セミナー支援

マーケティング基礎知識の習得。



(振興山村エリア)



### 山村活性化対策事業

山村の地域資源を用いた商品開発。



### 商談会開催等事業

バイヤー等への販路拡大。



## 2. 活動の加速化

### 中山間地農業推進対策（元気な地域創出モデル支援）

将来ビジョンや事業構想の実現に向け、デジタル技術の活用等により、収益力向上、販売力強化、農用地保全、複合経営、生活支援の導入・定着を支援。

収益力向上 + 《デジタル技術》

### 中山間地域所得確保対策

少人数から協議会まで、農業所得確保に向けた計画策定と実践を小回りが利く支援。



### 最適土地利用総合対策 / 中山間地域等農用地保全総合対策

複数集落で多様な人材を巻き込み、地域における土地利用構想の策定から実現までの取組を総合的に支援。



### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

リーダー育成、成功体験等により、地域の共通認識（ビジョン）を醸成し集落機能を再生。



### 中山間地農業推進対策（農村RMOモデル形成支援）

農村RMOのビジョン実現に向けた調査・計画策定・実証、デジタル技術の導入・定着を支援。



## 3. 活動の発展

### 農山漁村振興交付金

農山漁村発イノベーション対策(6次産業化・農泊推進・農福連携)等の取組を支援。



### 鳥獣被害防止総合対策交付金

野生鳥獣に対する様々な被害防止対策の取組を支援。



### 農山漁村地域整備交付金

基盤整備や防災・減災対策を支援。



コミュニティ維持と農山漁村の活性化・自立化

所得確保

農村空間活用

体制整備

側面支援

下支え

### 農村プロデューサー養成講座

地域づくりをサポートする人材育成のため、地方自治体職員を主対象とした研修講座を実施。

### 他省庁事業の活用

地域おこし協力隊/集落支援員/地域プロジェクトマネージャー（総務省）などの活用。

地域の将来像やそこで暮らす人々の希望の実現に向けてサポート！



中山間地域農業推進対策（農村RMO形成伴走支援） 農村RMOを支援する都道府県の取組を支援。

中山間地域農業推進対策（中山間地農業ルネッサンス推進事業） 道府県等が行う体制整備の伴走支援や所得確保等の取組の横展開等を支援。

中山間地域等直接支払交付金【第5期対策（令和2～6年度）】

【第6期対策】

多面的機能支払交付金

# 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業 ～地域で支え合うむらづくりの推進～

【令和5年度予算額 9,070（9,752）百万円の内数】

## <対策のポイント>

中山間地域等において、複数の農村集落の機能を補完する農村RMOの形成により地域で支え合うむらづくりを推進するため、むらづくり協議会等が行う実証事業等の取組、デジタル技術の導入・定着を推進する取組のほか、協議会の伴走者となる中間支援組織の育成等の取組に対する支援を実施します。

## <事業目標>

農用地保全に取り組む地域運営組織（100地区 [令和8年度まで]）

## <事業の内容>

### 1. 農村RMOモデル形成支援

地域協議会等が作成する将来ビジョンに基づく農用地保全、地域資源活用、生活支援にかかる調査、計画作成、実証事業等の取組、デジタル技術の導入・定着を推進する取組に対して支援します。

【事業期間】 最大3年間

【交付率（上限）】 定額（1,000万円(年基準額)×事業年数)

### 2. 農村RMO形成伴走支援

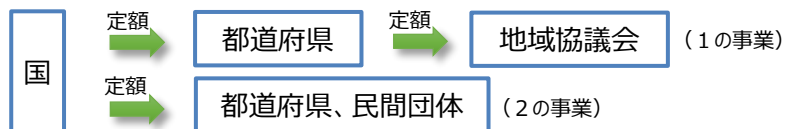
農村RMO形成を効率的に進めるため、中間支援組織の育成等を通じた都道府県単位における伴走支援体制の構築や、各地域の取組に関する情報・知見の蓄積・共有、研修等を行う全国プラットフォームの整備に対して支援します。

農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）  
複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織

※下線部は拡充内容

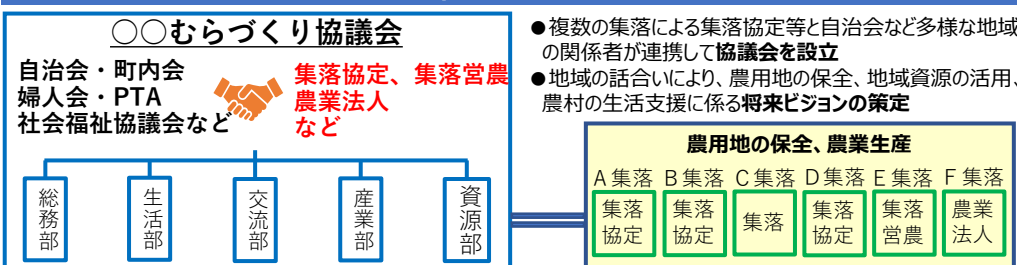
※対象地域：8法指定地域等

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### 農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ



### 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

#### 農村RMOモデル形成支援

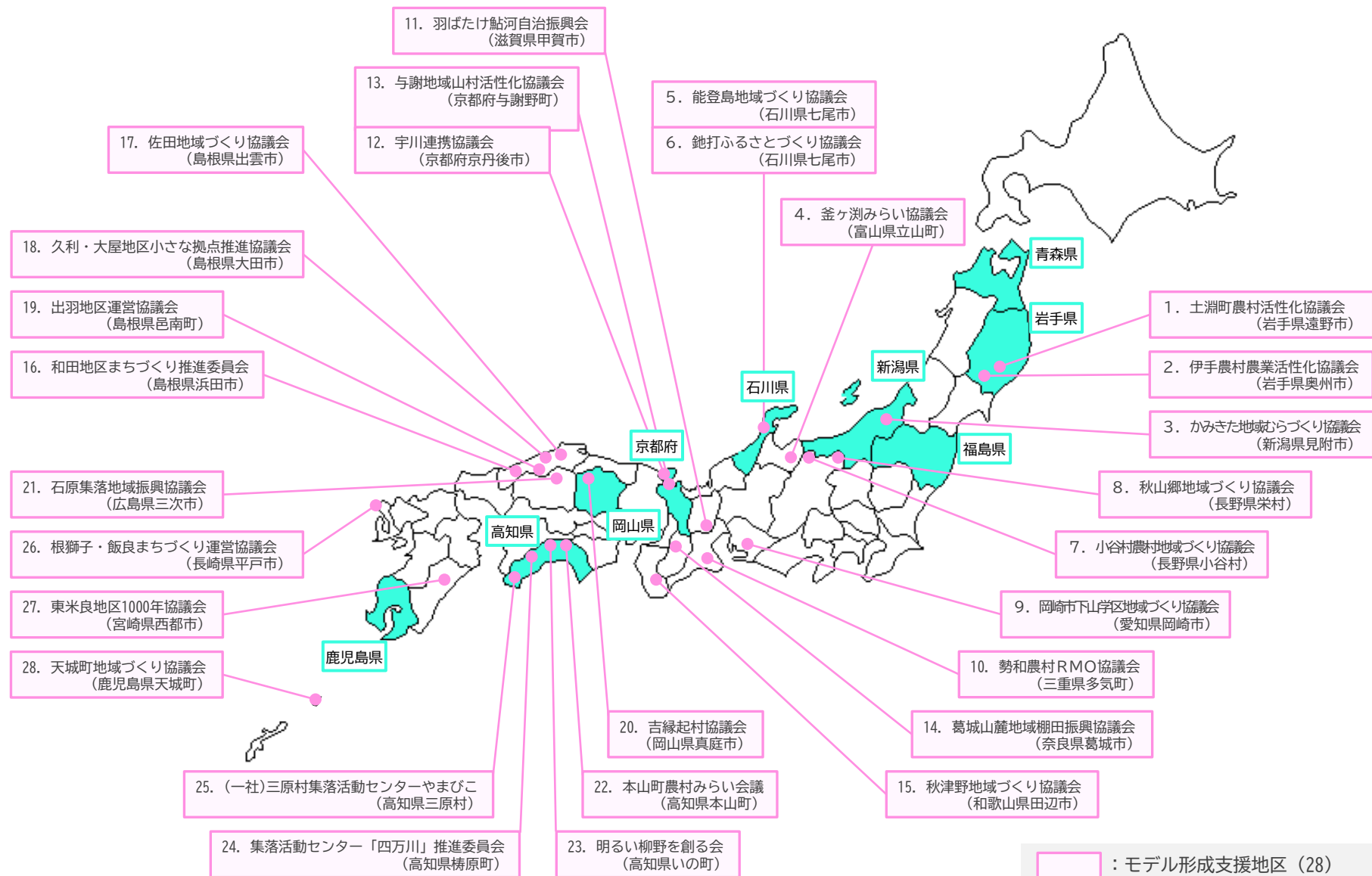


#### 農村RMO形成伴走支援



【お問い合わせ先】 農村振興局地域振興課（03-3501-8359）<sup>3</sup>

# 令和4年度 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業 取組状況



: モデル形成支援地区 (28)  
 : 伴走支援実施の都道府県 (9)

注) 青森県と福島県の伴走支援は、中山間地農業ルネッサンス推進事業による取組

# 農山漁村振興交付金のうち 最適土地利用総合対策

【令和5年度予算額 9,070 (9,752) 百万円の内数】  
 (令和4年度補正予算額 (中山間地域等農用地保全総合対策) 1,440百万円の内数)

## <対策のポイント>

中山間地域等における農用地保全に必要な地域ぐるみの話し合いによる最適な土地利用構想の策定、基盤整備等の条件整備、鳥獣被害防止対策、粗放的な土地利用等を総合的に支援します。

## <事業目標>

農用地保全に取り組み、事業目標を達成した地区数 (100地区 [令和8年度まで])

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 最適土地利用総合対策

地域ぐるみの話し合いにより、営農を続けて守るべき農地、粗放的利用を行う農地等を区分し、実証的な取組を行いつつ、土地利用構想図を作成し、その実現に必要な農用地保全のための活動経費、基盤整備や施設整備費等を支援します。

- ① 地域ぐるみの話し合いによる土地利用構想を概定、農用地保全のための実証的な取組
- ② 土地利用構想図に基づく粗放的利用のための簡易な整備、農用地保全のための基盤整備や施設の整備
- ③ 粗放的利用の取組や省力化機械の導入等、農用地保全のための活動
- ④ 農山漁村活性化法に基づき、農用地保全事業を行う場合には農用地保全等推進員の措置

【事業期間】 最大5年間

【交付率(上限)】 定額 (1,000万円/年、粗放的利用支援 1万円/10a、<sup>(※)</sup> 農用地保全等推進員 250万円/年)、5.5/10 等

※ 粗放的利用支援については、最大3年間

### 2. 最適土地利用推進サポート事業

ITを活用した申請手続の簡素化を図るとともに、事業主体の取組内容や農地保全状況等の確認、地域の課題解決のサポート、優良事例の横展開等を支援します。

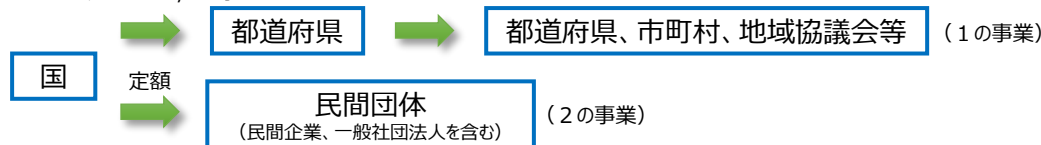
【事業期間】 1年間

【交付率】 定額

※下線部は拡充内容

## <事業の流れ>

定額、5.5/10等



農用地保全のための多様な取組を総合的に支援

### Step 1

地域ぐるみの話し合いにより、営農を続けて守るべき農地、粗放的な利用を行う農地等を区分し、実証的な取組を実施



【地域ぐるみでの話し合い】



【土地利用構想の概定】



長大法面の芝生化



放牧

【農用地保全の実証的な取組】

### Step 2

土地利用構想図を策定し、農用地保全のための条件整備や各種取組を選択・実施

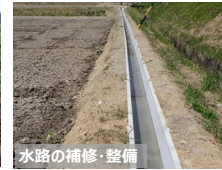


【土地利用構想図の策定】



伐根・整地

【粗放的利用のための条件整備】



水路の補修・整備

【農用地保全に資する基盤整備】



農業用ハウスの整備

【農業用ハウスの整備】



【鳥獣緩衝帯】



【蜜源作物の作付け】



【計画的な植林】



【省力化機械の導入】

中山間地域等の実情に即した土地利用構想を実現

【お問い合わせ先】 農村振興局地域振興課 (03-6744-2665)

# 最適土地利用のための総合対策 (農山漁村振興交付金)



詳しくはこちら  
(農林水産省HP)

## 地域でこんな声がありませんか？



農地をどのようにしていくのか…

荒廃農地を解消したいけど、これ以上手を広げられない…



先祖代々の農地、管理しきれない…

農地が荒れると景観も悪いわ…



**「最適土地利用のための総合対策」  
ができました！**

地域にあった農地の保全や体制をつくりましょう！



地域ぐるみの話合いから農用地保全のための多様な取組を総合的に支援します！



担い手が耕作する農地とそうでない農地を明確化して、最適な構想を整理できた！

話合いや先進地視察、計画策定等の経費を支援！



無理せず農地を利用できるね！



土地利用構想を策定するための実証的な取組を支援！  
また、その実現に向けた農用地保全のための基盤整備や条件整備を支援！

地域みなさんに農地を安心して委ねられるわ！



粗放的利用のための種苗代や管理経費、省力化機械の導入を支援！



農地を利用する取組に私も一緒にチャレンジしたいわ！



# 農山漁村振興交付金（最適土地利用総合対策）

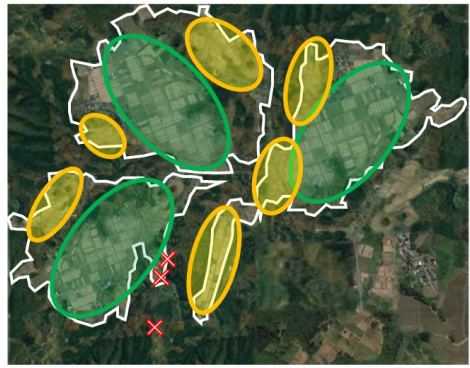
## 【支援内容】

中山間地域における複数集落を対象に、地域の実情に即した農用地保全のための多様な取組を総合的に支援（事業実施期間：最大5年間）

地域ぐるみの話し合いにより、営農を続けて守るべき農地、粗放的利用を行う農地等を区分し、実証的な取組を行いつつ、土地利用構想を作成し、その実現に必要な農用地保全のための活動経費、基盤整備等を支援

農用地保全のための多様な取組を総合的に支援

### Step 1 地域ぐるみの話し合いにより、営農を続けて守るべき農地、粗放的な利用を行う農地等を区分し、実証的な取組を実施



【土地利用構想の概定】



【地域ぐるみでの話し合い】



【先進地視察】



【体制整備】



長大法面の芝生化



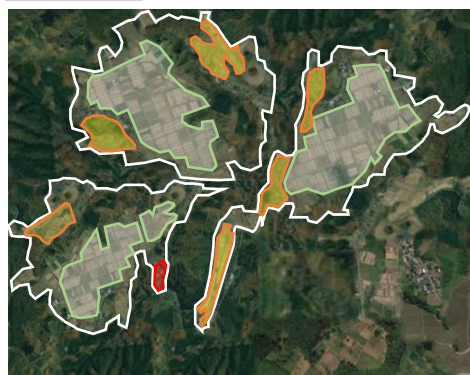
放牧



省力化機械の導入

【農用地保全の実証的な取組】

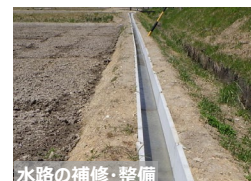
### Step 2 土地利用構想を策定し、農用地保全のための条件整備や各種取組を選択・実施



【土地利用構想の策定】



伐根・整地  
【粗放的利用のための条件整備】



水路の補修・整備  
【農用地保全に資する基盤整備】



【農業用ハウスの整備】



粗放的な利用による農業生産  
上限10,000円/10a/年



農業生産の再開が容易な土地利用等  
上限5,000円/10a/年



【計画的な植林】

【蜜源作物の作付け】

【鳥獣緩衝帯】

Step 1 で、地域ぐるみの話し合いにより、まずは、営農を続けて守るべき農地を整理、維持管理が困難な農地等においては、粗放的な利用を行うなど多様な土地利用の概略構想から、実証的な取組を行いつつ、3年以内に地域における土地利用構想を策定

▶ ①ソフト：上限1,000万円/年

Step 2 では、土地利用構想に基づく、農用地保全のための条件整備や各種取組を実施

▶ ② 農用地保全のための基盤整備、農業環境整備（農業用ハウス、簡易トイレ等）：  
ハード定率（5.5/10等 上限2,000万円/年）

▶ ③粗放的利用支援  
ソフト：上限10,000円/10a  
又は 上限5,000円/10a  
※ 営農定着のための支援として最大3年間

### 【農用地保全等推進員の措置】

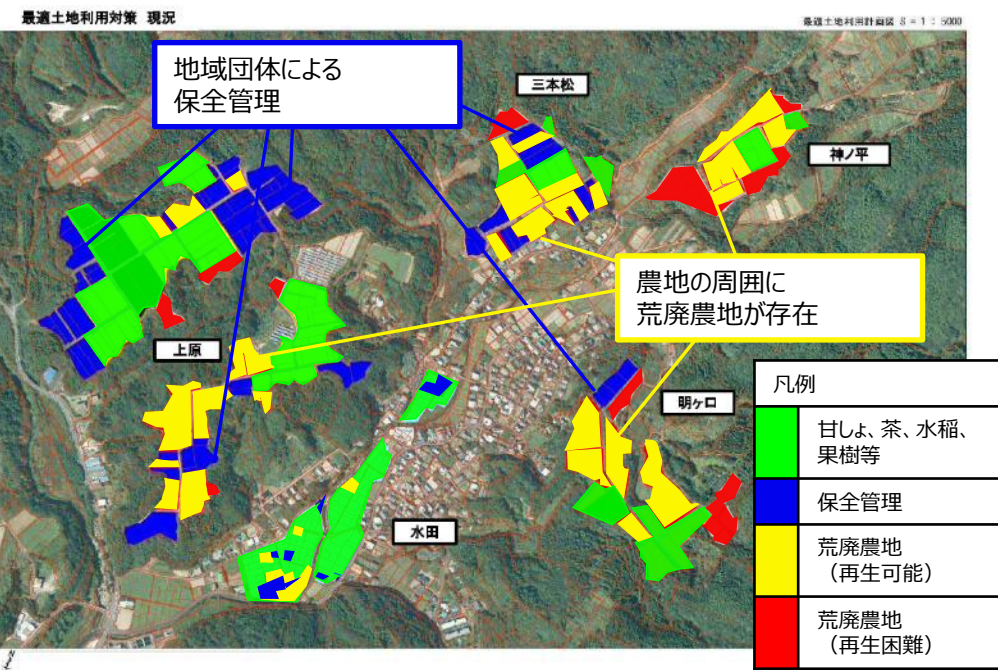
多様な農用地の活用にあたり、技術や知識を有する者が各種取組をコーディネート（ソフト：上限250万円/年）

※ 活性化計画を作成していること又は作成することが確実であること。

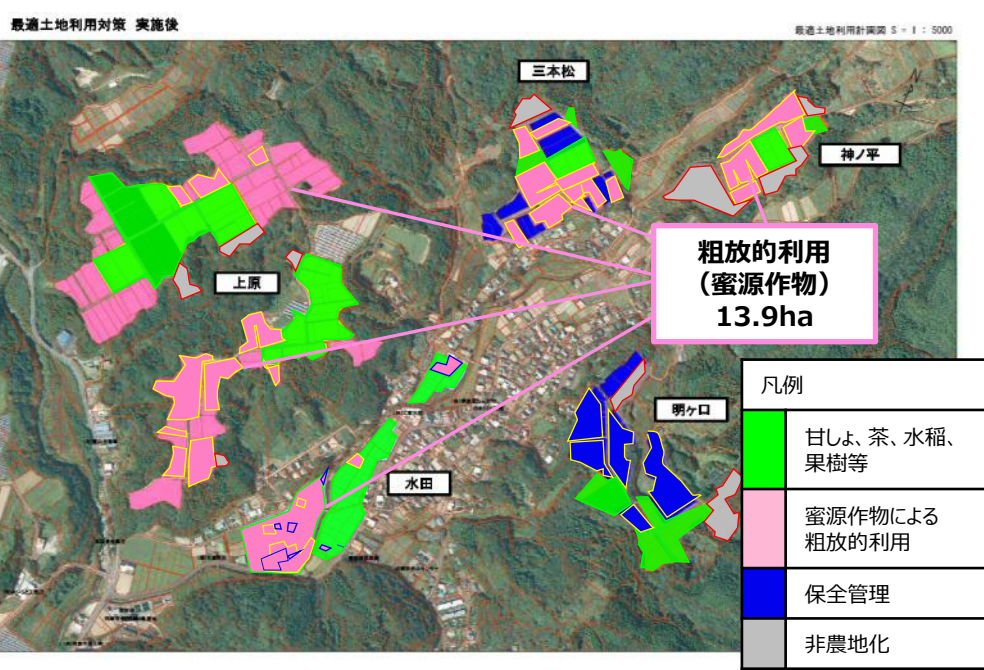
# 最適土地利用対策のうち低コスト土地利用支援事業（粗放的農地利用事業）

地区	たぶがわ <b>鹿児島県枕崎市田布川地区</b>	実施主体	枕崎市担い手育成総合支援協議会	作付作物	蜜源作物 (菜の花、レンゲ)	実施面積	32.9ha
キーワード	地域団体、養蜂家との連携	管理主体	地域団体（未定）	地域区分	過疎、半島	整備面積	6.56ha (予定)

## 地域の課題



## 将来構想



## 最適土地利用計画のポイント

- ・ 条件の良い農地は、担い手農家が引き続き経営し、**甘しょや茶の耕作面積の維持・拡大**を図る。
- ・ 市、農協、地域振興局等が連携して**担い手の掘り起こし、営農集団の育成**を行い、中間管理機構、農業委員会による農地のあっせんを強化。
- ・ 条件の悪い農地は粗放的利用し、**蜜源作物（菜の花、レンゲ草など）の作付**を行い、**養蜂家と連携して収益**を得る。
- ・ **地域内の美化活動**を行っている団体が主体となり、将来の地域の農地保全を行う。



事業要件等

**事業内容：**中山間地域において、農家所得を確保するため、マーケットや消費者の動向把握、生産・加工・流通・販売の再編（スマートフードチェーン\*の構築）、国内外の販路拡大に向けた販売戦略の検討等、地域の**農業所得確保に向けた計画の策定と実践を支援**します。

また、令和2年度・3年度補正中山間地域所得確保推進事業にて策定された所得確保計画の計画期間内において、成果目標の達成が困難と認められる場合に限り、**計画の見直しと実践を支援**します。

**対象地域：**過疎、特定農山村、振興山村、離島、半島、沖縄、奄美、小笠原、特別豪雪地帯、指定棚田、旧急傾斜法の指定地域、農林統計上の中山間地域

**実施主体：**都道府県、市町村、地域協議会、農業者団体等

**補助率：**定額（最大500万円/地区）

\*スマートフードチェーン(SFC)とは？

生産から流通、加工、消費までのデータの相互利用を可能にし、農業における超スマート社会の実現を**目指すこと**。



事業の流れ



事業内容

①マーケット調査（国内市場・海外輸出）

→国内市場、海外市場に関する調査(事業着手前にターゲットとするマーケット(国内市場、海外輸出)及び具体的な地域を設定) 等

②消費者動向調査

→地区で生産している農産物や加工品に関する消費者の評価調査、新たに生産を検討している商品のモニター調査 等

③生産・加工・流通・販売の現状分析

→生産品目・数量・出荷実績、流通ルート・流通量、販売先・販売量等に関する実態調査・分析、事業再編等の見直し検討 等

④生産・販売戦略の検討

→購買(顧客)ターゲット、販売品目、販売経路等、ターゲットマーケティングの実施、商品の表現コンセプトの開発 等

⑤所得確保計画の策定又は見直し

→販売額の増加（10%以上）、流通・加工コストの削減（10%以上）のいずれかの目標を設定  
計画の見直しを行う場合は、目標の見直しも可能

⑥所得確保計画の実践

→計画に定めている取組のうち、計画初年度又は計画見直し年度の取組を**実践**

※①～④は地区の実情に応じて選択して実施、⑤、⑥は必須（計画の見直しを行う場合も同様）

# 農山漁村振興交付金のうち 中山間地農業推進対策

【令和5年度予算額 9,070 (9,752) 百万円の内数】  
 (令和4年度補正予算額 (中山間地農業推進対策) 1,440百万円の内数)

## <対策のポイント>

中山間地域等において、中山間地農業ルネッサンス事業の地域別農業振興計画に基づき、収益力向上、販売力強化、生活支援等に関する具体的な取組、複数の農村集落の機能を補完する「農村型地域運営組織 (農村RMO)」の形成、デジタル技術の導入・定着に対する支援を実施します。

## <事業目標>

中山間地域の特色を活かした営農と所得の確保に取り組み、事業目標を達成した地区の創出 (350地区 [令和7年度まで])

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### ① 中山間地農業ルネッサンス推進支援

中山間地域等の特色を活かした創意工夫あふれる取組等を支援します。

#### ② 元気な地域創出モデル支援【令和4年度補正予算含む】

収益力向上、販売力強化、生活支援等に関する具体的な取組、デジタル技術の導入・定着を後押しすることで、優良事例創出を推進します。

【事業期間】 最大3年間

【交付率 (上限)】 定額 (1,000万円(年基準額)×事業年数)

#### ③ 地域レジリエンス強化支援

地域レジリエンス強化連携協定に基づく災害時の避難等に関する活動を支援します。

【交付率 (上限)】 定額 (500万円/地区)

#### ④ 中山間地複合経営実践支援

地域特性に応じた複合経営を実践する取組を支援します。

### 2. 農村型地域運営組織 (農村RMO) 形成推進事業

#### ① 農村RMOモデル形成支援

地域協議会等が作成する将来ビジョンに基づく農用地保全、地域資源活用、生活支援にかかる調査、計画作成、実証事業等の取組、デジタル技術の導入・定着を推進する取組を支援します。

【事業期間】 最大3年間

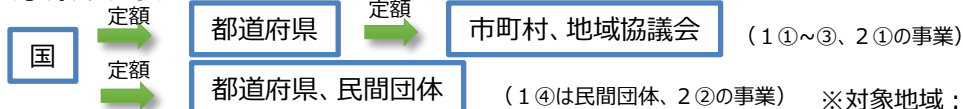
【交付率 (上限)】 定額 (1,000万円(年基準額)×事業年数)

#### ② 農村RMO形成伴走支援

協議会の伴走者となる中間支援組織の育成等の取組を支援します。

※下線部は拡充内容

## <事業の流れ>

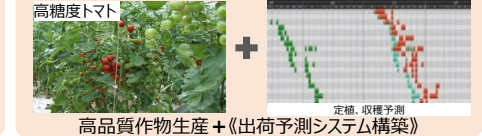


### 1. ② 元気な地域創出モデル支援

#### A 収益力向上+《デジタル技術》



#### I 販売力強化+《デジタル技術》



#### ウ 農用地保全+《デジタル技術》



#### エ 複合経営+《デジタル技術》



#### オ 生活支援+《デジタル技術》



### 2. 農村RMO形成推進事業

#### ① デジタル技術の導入・定着を含めた調査・計画作成・実証等



#### ② 全国規模の研修会、中間支援組織による人材育成研修



円滑に取り組めるよう既存施策も活用してフルサポート

情報通信環境整備対策  
通信環境の整備

農山漁村発イノベーション  
サポートセンター  
経営改善等の伴走支援

農村RMO推進研究会  
ノウハウの横展開

INACOME  
民間企業のスキル導入

社会課題解決や魅力向上を通じた地域活性化 (デジタル田園都市国家構想の実現を後押し)

<対策のポイント>

山村の活性化を図るため、山村の特色ある**地域資源の活用**等を通じた**所得・雇用の増大**を図る取組を支援します。

<事業目標>

中山間地域の特色を活かした営農と所得の確保に取り組み、事業目標を達成した地区の創出（350地区〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 山村活性化対策事業

山村振興法に基づき指定された振興山村において、農林水産物等の消費の拡大や域外への**販売促進、付加価値の向上**等を通じた**地域経済の活性化**を図るため、山村の特色ある地域資源の潜在力を再評価し、それらを地域ぐるみで活用するためのソフト面の取組（組織・体制づくり、人材育成、付加価値向上等）を支援します。

【事業期間：上限3年間】

【交付率：定額（上限1,000万円/地区）】

2. 商談会開催等事業

① 商談会開催支援

**バイヤーとの商談会**やWEBサイト上のマッチング商談会の開催など、山村の地域資源を活用した商品の**販路開拓に向けた取組**を支援します。

② 山村振興セミナー支援

地域資源を最大限活用した新ビジネスをより効果的に創出するため、商品づくりに必要な**マーケティングのノウハウに係る基礎講習**、ビジネスモデル作成に関する**実践力を養う企画コンペ形式のワークショップの実施**を支援します。

【事業期間：1年間】

【交付率：定額】

1. 山村活性化対策事業

地域資源の賦存状況・利用形態等の調査

資源量調査、文献調査、聞き取り調査  
地域資源の管理・保全形態等調査 等



現地調査

地域資源を活用するための  
合意形成、組織づくり、人材育成

住民意向調査、地域住民によるワークショップ開催  
資源活用の推進体制・組織の整備、実施計画づくり 等



合意形成・計画づくり

地域資源の消費拡大や販売促進、  
付加価値向上等を図る取組

地場農林水産物を使った地域産品づくり  
既存の直売所等と連携した販売促進、地域ブランドづくり  
商品パッケージ等のデザイン検討、ECサイトの立ち上げ 等 地域産品の加工・商品化



地域資源を活用した  
ビジネス創出の  
支援

外部専門家によるマーケ  
ティングに関する基礎講  
習

ビジネスモデル作成に関  
する企画コン  
ペ形式WS

2. ②山村振興セミナー支援

2.①商談会開催支援

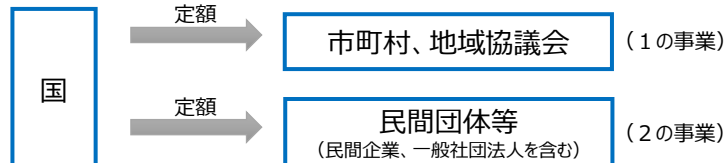
山村地域の参加者とバイヤー等との商談会  
の開催・運営及びWEB上でのマッチング  
販売力向上セミナー 等



商談会の開催

農林水産業を核とした山村の所得・雇用の増大  
に向けた取組の推進

<事業の流れ>



# 山村活性化対策事業 支援内容・助成対象

## 支援内容

資源量調査・資源確保策対応：地域資源の賦存状況・利活用状況調査、栽培講習会等

人材育成：地域ワークショップ開催、技術取得・技術普及向け研修会実施等

商品開発・既存商品改良等：地域資源を活用した新商品開発（既存商品改良）、市場調査（試験販売）、名物メニュー・観光プログラム開発、モニターツアー実施等

販路開拓・拡大：キャッチコピー作成、ブランディング戦略検討、広報活動、展示商談会出展、HP（ECサイト）立ち上げ等

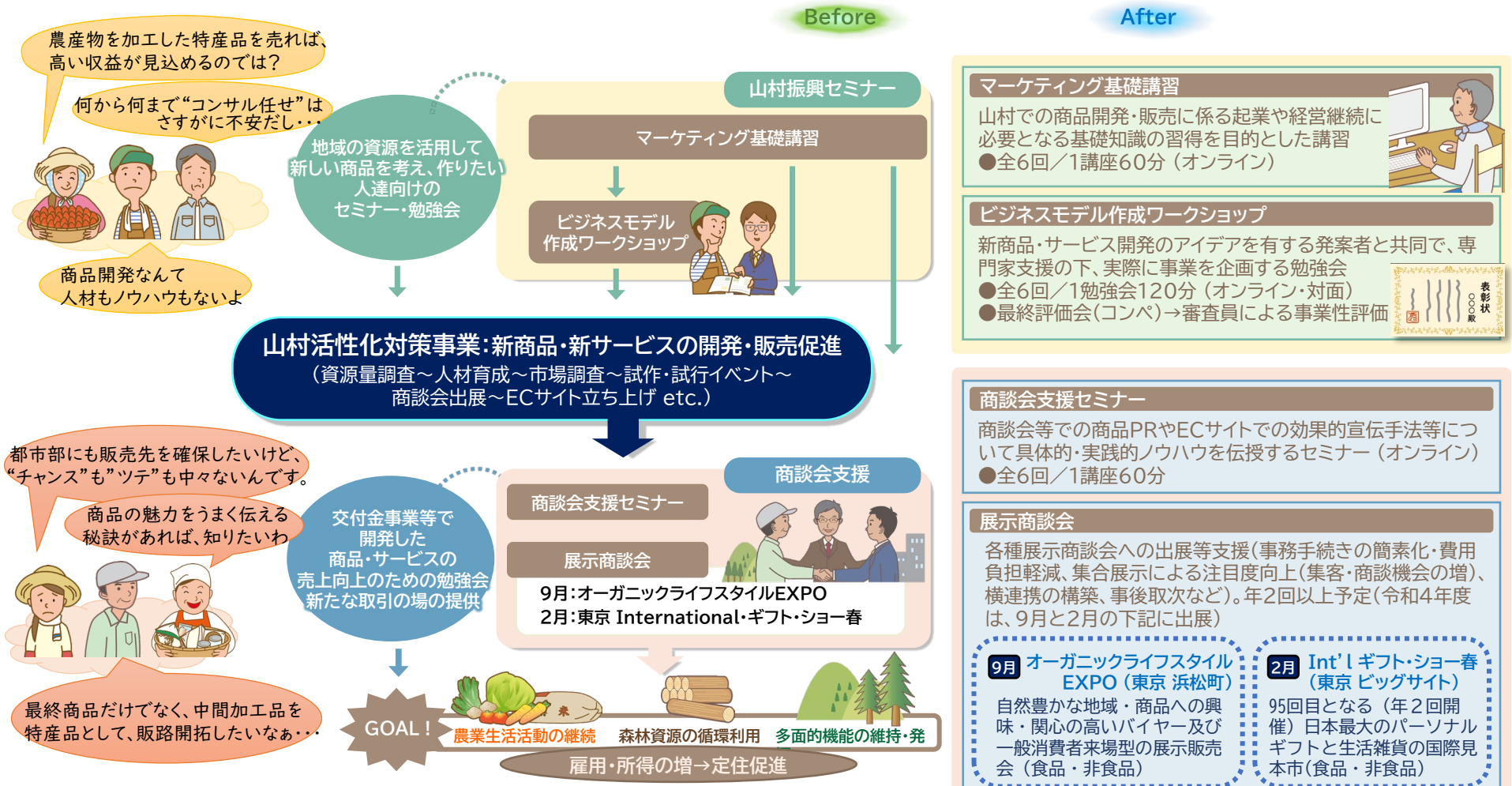
## 助成対象

役務費、委託料、資材等購入費、機械賃料、人件費、旅費 等

（補助率：1地区当たり上限 年間1,000万円×3年間まで（定額＝100%））

# 山の恵みプロジェクト※のご案内

※ 山村活性化対策事業等による商品・サービス開発に取り組む前の準備段階と、事業取組後の売上向上・事業継続を支援するプロジェクト



農産物を加工した特産品を売れば、高い収益が見込めるのでは？

何から何まで“コンサル任せ”はさすがに不安だし...

商品開発なんて人材もノウハウもないよ

都市部にも販売先を確保したいけど、“チャンス”も“ツテ”も中々ないんです。

商品の魅力をうまく伝える秘訣があれば、知りたいわ

最終商品だけでなく、中間加工品を特産品として、販路開拓したいなあ...

**マーケティング基礎講習**

山村での商品開発・販売に係る起業や経営継続に必要な基礎知識の習得を目的とした講習

- 全6回/1講座60分(オンライン)

**ビジネスモデル作成ワークショップ**

新商品・サービス開発のアイデアを有する発案者と共同で、専門家支援の下、実際に事業を企画する勉強会

- 全6回/1勉強会120分(オンライン・対面)
- 最終評価会(コンペ)→審査員による事業性評価

**商談会支援セミナー**

商談会等での商品PRやECサイトでの効果的宣伝手法等について具体的・実践的ノウハウを伝授するセミナー(オンライン)

- 全6回/1講座60分

**展示商談会**

各種展示商談会への出展等支援(事務手続きの簡素化・費用負担軽減、集合展示による注目度向上(集客・商談機会の増)、横連携の構築、事後取次など)。年2回以上予定(令和4年度は、9月と2月の下記に出展)

**9月** オーガニックライフスタイル EXPO (東京 浜松町)

自然豊かな地域・商品への興味・関心の高いバイヤー及び一般消費者来場型の展示販売会(食品・非食品)

**2月** Int'l ギフト・ショー春 (東京 ビッグサイト)

95回目となる(年2回開催)日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市(食品・非食品)

## 年間スケジュール (令和4年度の例)

カリキュラム	5～6月上旬	7月・8月	9月	10・11・12月	1月	2月
山村振興セミナー	●基礎講習 ●WS	基礎講習 WS	基礎講習 WS(中間評価会)	基礎講習 WS	基礎講習 WS(最終評価会)	修了証授与 表彰式/修了証授与
商談会(セミナー・商談会)		セミナー	オーガニックライフスタイルExpo	セミナー	セミナー	Int'l ギフト・ショー春

山村からの参加者募集